

ほっと人権

—第8号—

平成18年11月24日

学校支援部 人権教育担当

第3講座は、どろめと絵金の町、赤岡が会場でした。

【研修会】人権教育授業研究講座3

【日 程】平成18年11月24日（金）

【会 場】香南市立赤岡小学校

【参加者】27名

本年度
最終回



この日は、香南市教育研究会の研修と抱き合わせの運営でしたので、参加者の大半は香南市の教員でした。教諭だけでなく講師や管理職の参加があったおかげで、経験年数の幅が広くなり、有意義な意見交換ができました。

1 公開授業 授業者 赤岡小学校 教諭 井上雄二さん

今回授業を公開してくださった井上さんは、10年経験者研修の対象者です。また、最高学年である6年生の担任として多忙な日々を過ごしています。そのような中で赤岡の子どもたちと共有した時間と一連の研修とを自らの成長の糧とし、一回りも二回りも成長した姿を見せてくれました。

公開したのは人権総合学習「『赤岡発ハローワールド』～地球人として生きる～」の1時間。全39時間計画という流れの中に、ビックリするぐらい人との出会いを仕組んでいます。そのおひとりが今回のゲストティーチャーで、赤岡の地域改善に尽力された地域の先人です。この方の生き様を通して「人を思いやるやさしい心、間違った考えや行動に対して、自分が正しいと思ったことをはっきりと言える強い心」を大切にすることをねらった授業でした。

一貫していたのは、**教師の立ち位置の明確さ**です。大袈裟に演出する身振り手振りはありませんが、真剣な「目力」の持ち主でした。授業への熱意あふれる井上さんは、情報分類法を取り入れ「赤岡町のよさと課題」「学級のよさと課題」を簡潔にまとめさせ、それを教室に掲示していました。まちづくりに携わってきた方との出会いについては、まとめの文章が同様に掲示されていました。このように、学習の足跡がはっきりと分かる取組（つまり、付け焼刃ではない確かな取組）でした。



授業の準備物も実に丁寧に作られていました。32名の児童一人一人を思い浮かべながら作った短冊を授業の中で効果的に使っていました。また、板書の美しさ、丁寧さも際立っていました。



2 実践発表 発表者 赤岡小学校 教諭 北村正代さん

今回の講座では、公開授業の事後検討会の時間を確保するために、人権教育の取組の概要を、わずか10分間で報告していただくという大変無理なお願いをしましたが、人権教育主任の北村さんが、勝手にまとめてくださいました。

さすが！と感心したのは、人権教育計画の資料を見たときです。人権教育で大切にしたい**4つの視点**（詳細は「Let's じんけん」改訂版のP4～5をご覧ください。）が明確に位置付けられているではありませんか。このような計画は、残念ながらまだ多くありません。参考にすべきモデルです。

きらきらタイム（赤岡小学校では人権総合学習の時間をこのように呼んでいます。）の系統性の説明にも説得力がありました。これまでの同和教育の実践のうえに新たな風を吹き込み、人権総合学習とし

て再構築させた赤岡小学校の取組はますます進化・深化しており、今後の研修等において「先進的な実践モデル」として紹介させていただく機会が増えそうです。 **当日は、地域教材集も配付されました！**



3 研究協議

●教室の雰囲気、その裏にあるもの・・・

授業を参観した多くの方は、6年生の学級のことを「雰囲気のよい学級」と形容しました。授業者からの報告を聴いていくと、子どもの生活背景のしんどさが徐々に分かってきましたが、学習指導案や学習活動案の中にひとつのヒントを見つけました。「**配慮すべき子ども**」という項を設け、その子が置かれている生活の状況、学習面など学校での状況、それを踏まえたうえで、どういう指導・支援をしていくかを明記しています。藤本校長に伺うと微笑みながら「赤岡の伝統です。当たり前のこととしてやっています。」と明快に答えてくださいました。「すべての人が等しく学習機会を得る。」「人権が大切にされた環境で学ぶ。」・・・担当者は4つの視点の文章を思い浮かべました。

●行動化の難しさについて

「学習したことが、日ごろの実生活に結び付いていかない。」「理屈では分かっているのに、行動化につながらない。」これらを解決していくことは、人権教育における大きな課題です。授業者の井上さんへの質問として出されたことでしたが、全体で協議することにしました。

出された意見は「やっぱり『自分事』になっていないからだと思うなあ。(つまり『他人事』)」「それにスキル修得に向けた学習が少ないもんね。(何とかしたいと思っていても、どう動いてよいのかが分からない)」「いや、問題の本質が分かってないんじゃない?」「こんなことも行動化に入るの?」と思っている子どもがいるんじゃない?(行動化とは、大きな動きだけだと思い込んでいる。)」等々、意味あるやりとりがなされました。各校で取り組む際のヒントが得られたことと確信しています。



●参加者の感想から

◆教職員の意識が高い!理想が明確で好感が持てました。授業にかける教師の思いが大切であることを改めて感じました。

◆第1、2講座は会場が遠方であることと時間の都合で参加できませんでしたが、今回受講して「もったいないなあ」と感じました。自校の実践に生かせることが多く得られました。地域の力も感じました。

◆しっかりと取り組まれた授業を見せていただきありがとうございました。今日の人権学習は明日、将来に希望の持てるものでした。そしてその学習が自分の、自分たちの今に重なるものでした。

◆井上先生、ご苦労様でした。先生の感性、すばらしいですね。子どもたちを大切にしていれば、見えてくるものがたくさんあります。